

9月イベント情報

★9/1(木)防災の日

9/1~9/30防災月間

★9/1(木)~10/31(月)

アトムチェーン

~防災・防犯点検強化月間~

ご不安なことがあれば、ぜひご相談ください

~秋のリフォームフェア~

お家のお困りごとを解決します♪

★9/19(月)敬老の日

★9/23(金)秋分の日



今月の逸品

吸引力はもちろん! 空気を吹き出す「プロワー」機能で窓サッシのすき間などのゴミを吹き出しますみずみまでれいに



ハンディクリーナー
AQC-HH700



アトムでんきだより

2022年
9月号

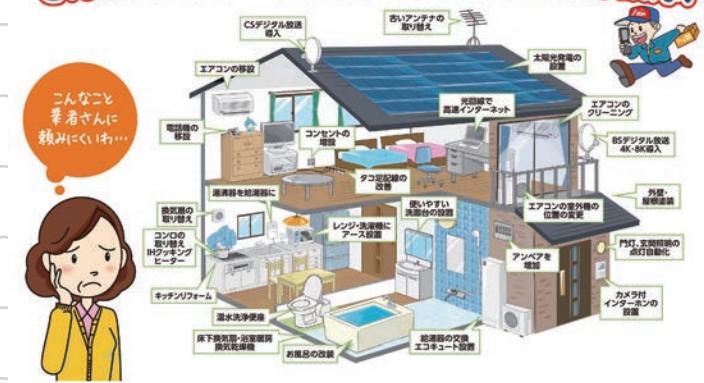
9月



暦の上では初秋の季節となりますが、まだまだ暑い日が続きます。皆様いかがお過ごしでしょうか? 本日、アトムでんきだより9月号とお買得情報、おすすめ商品

が満載の特選品カタログをWEB掲載しました。お手に取ってご覧いただければ幸いです。9月は防災月間として設定されている月であり、日本全国の自治体などで防災訓練が行われたりハザードマップの再確認が行われるなど、一人ひとりの防災意識を高めるための活動が行われています。アトムチェーンでも防災・防犯点検キャンペーンとして身の回りの『防災・防犯』に関するお手伝いをさせて頂いていますので、お気軽にご相談、お声がけください。一方で、この時期は色々な食べ物が美味しい『実りの秋』とよばれる楽しみな季節です。アトムチェーンでは各メーカー自慢の最新調理家電を取り揃えていますので、ぜひお声がけください。加えて今月から“秋のリフォームフェア”もスタートし、皆様の快適な暮らしを応援しています。どこに頼んでよいか分からないような、ちょっとしたお困り事についても、喜んでご対応させていただきます! 最後に季節の移り変わりを肌で感じることのできる日本ならではの今の季節を楽しんでいただき、中面では『お月見』の豆知識を特集していますので、ご興味があれば、ぜひご一読ください。

でんき・住まい・くらしのお困り事解決応援隊!





暮らしのワンポイント情報

アトム電器は
安全・快適・スマートな暮らしの
サポーターを目指します！



LED電球に交換する前に！

LED電球の中には、従来の照明器具には非対応のものがあり組み合わせによっては不具合・事故につながるおそれがあります。

注意が必要な照明器具

◆調光機能のついた器具

明るさ調節ができる照明器具



◆断熱材施工器具

「S」マークがついている器具



他にも…

以下の照明器具も、取り付けるLED電球が対応のものか確認が必要です。

- ・人感センサー、明るさセンサー等センサー付きの照明器具
- ・屋外用の照明器具
- ・密閉形器具(カバーなどで外側からランプが見えないタイプ)

LED電球の取り付けの際は、その電球がご家庭の照明器具に適合するかどうかパッケージや注意表示等で確認するようにしましょう。

『高血圧が気になる方へ』 ♪今日のヘルシーレシピ♪



エネルギー / 120kcal
たんぱく質 / 4.4g
塩分 / 0.7g

材料(1人分)

・モロヘイヤ(葉).....	20g
・長いも.....	15g
・にんじん.....	15g
・牛肉(こま切れ).....	20g
・にんにく(みじん切り).....	1/2片(3g)
・湯.....	1カップ(200ml)
・サラダ油.....	小さじ1/2(2g)
・塩.....	ミニスプーン2/3強(0.7g)
・こしょう.....	適宜
・黒こしょう(粗挽き).....	適宜

季節の食材 モロヘイヤ



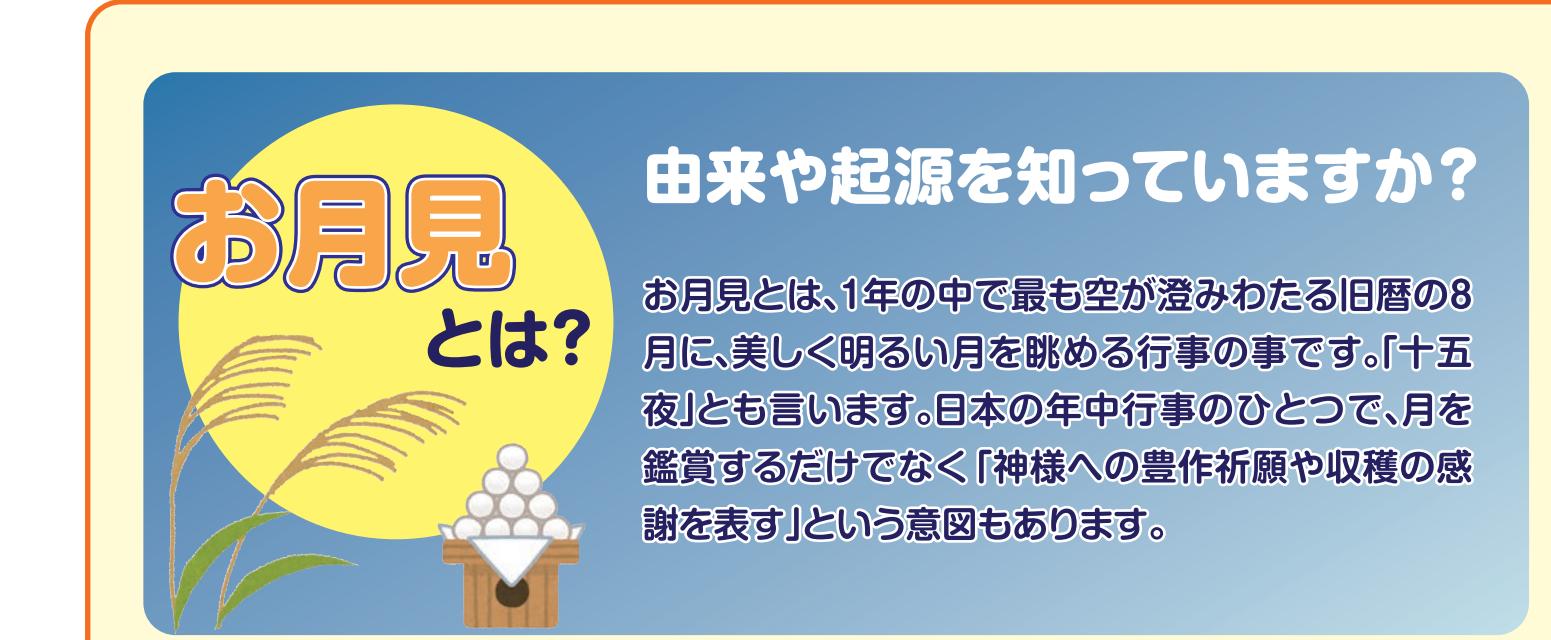
アラビア語で「王家の野菜」を意味するムルキイヤから名づけられたと言われるモロヘイヤ。クレオパトラが食べたとか、王様の病気がモロヘイヤのスープで治ったといった伝説があります。モロヘイヤは栄養豊富な野菜ランディング上位の野菜です。血压の上昇を防ぐカリウムはもちろんのこと、カルシウム、鉄、ビタミンA、B群、C、さらにビタミンEやK、食物繊維も豊富です。葉はゆでるとかさが減り、刻むと粒りが出ます。スープ以外には、ねばねばした食品と組み合わせるいただきやすくなります。

作り方

- モロヘイヤを熱湯でさっとゆで、冷水に取って水気を絞り、粗いみじん切りにする。
- 牛肉は手で裂いて大きめの挽き肉状にし、ひとつまみの塩とこしょうをふってもみ込む。
- 長いもとにんじんは、5mm角に切る。
- 鍋にサラダ油、にんにく、にんじんを入れて炒め、香りが立ったら牛肉を加える。
- 内のが変わったら湯を入れ、モロヘイヤ、長いもを加えて1~2分煮る。
- 残りの塩と粗挽きの黒こしょうで味をととのえ、器に盛りつける。

出典: オムロンヘルスケア株式会社様ウェブサイト「ヘルシーメニュー」

モロヘイヤと牛肉のスープ



由来や起源を知っていますか？

お月見とは、1年の中で最も空が澄みわたる旧暦の8月に、美しく明るい月を眺める行事の事です。「十五夜」とも言います。日本の年中行事のひとつで、月を鑑賞するだけでなく「神様への豊作祈願や収穫の感謝を表す」という意図もあります。

毎年、十五夜の日にちが変わります。

元々、十五夜は旧暦の8月15日とされていました。新暦で表すと9月15日を十五夜と思う方も多いですが、実はその年によって十五夜の日にちは変わっています。

1年の長さが異なる



月の満ち欠けを基準にしていた旧暦と、太陽の動きを基準にしている新暦では1年の始まる日も1年の長さも異なります。そのため旧暦と新暦にズレが生じ、実際には

毎年9月中旬～10月上旬の間

に十五夜がくるとされています。

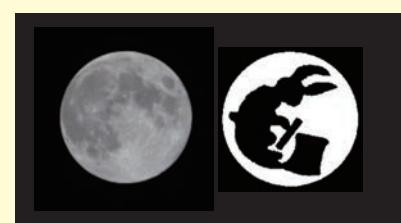


お月見のはじまりはいつ？

日本には、奈良・平安時代にお月見の文化が中国から伝わりました。はじめは貴族が月を鑑賞しながら和歌を詠んだり、お酒を楽しむ「観月の宴」が行われていました。それが江戸時代になると、庶民にも広がり時期的にちょうど秋だった事から、月を眺めると同時に収穫をお祝いする行事に変わったとされています。

なぜ月にうさぎがいると言われているかご存じですか？

所說ありますが、1つ目は月の模様です。



そのままですね。

お餅についている理由ですが、秋にたくさんのお米が獲れたことに感謝する意味が込められているそうです。

実は月うさぎは万国共通ではなく、海外では大きなハサミを持ったカニや月の白い部分で女性に見立てている国もあるそうですね。とても興味深いですね。

2つ目は仏教説話から来ているお話です。

『昔、あるところにウサギとキツネとサルがありました。ある日、疲れ果てて食べ物を乞う老人に出会い、3匹は老人のために食べ物を集めました。サルは木の実を、キツネは魚をとってきましたが、ウサギは一生懸命頑張っても、何も持つことができませんでした。そこで悩んだウサギは、「私を食べてください」といって火の中にとびこみ、自分の身を老人に捧げたのです。実は、その老人とは、3匹の行いを試そうとした帝釈天(タイシャクテン)という神様。帝釈天は、そんなウサギを哀れみ、月の中に甦らせて、皆の手本にしたのです。』

